



今年は初めての会場で慣れない機材でしたが手際よく次々にお餅ができてきました

波賀支部では、波賀婦人会役員の皆様の協力で、平成2年から毎年12月に歳末たすけあい「歳末愛の餅づくり」を実施しています。

始まりは、宍粟郡連合婦人会で実施していた「愛の餅事業」で、婦人会が岡山県の国立療養施設に届ける餅をつくる際に、町内のひとり暮らし高齢者等世帯に届ける分を追加してつくったことでした。歳末たすけあいや善意銀行で預託いただいたもち米や資金を活用しています。

出来上がったお餅は、町内

はが

明るく元気な新年を

波賀婦人会の愛の餅づくり



の75歳以上のひとり暮らし・二人暮らし世帯のうち希望されるお宅へ担当の民生委員児童委員が声かけをしながら届けました。

今年は、12月21日にJAHリマ生活センター(東市場)で108戸分のお餅と、「明るく元気に新年を迎えてもらいたい」と想いを込めたメッセージカードを初めて作成しました。

この活動は、婦人会をはじめ、民生委員児童委員協議会、募金や材料の寄附をいただくたくさんの皆様に支えられて実施しています。

(波賀支部 森井裕矢)



「どんなのがええやろ？」メッセージカード作りはアイデアを出し合い全て違う手作りカードが完成！！

ちくさ

「みんなあつまれちくさっ子」開催

寒さを吹き飛ばしたよ！！



ちびっこ90人が集合！！赤い羽根共同募金の配分金を活用し、千種幼稚園・千種北幼稚園・千種杉の子保育園・千種子育て支援センターと共催で行いました。



子どもたちは、お父さんお母さん・おじいちゃんおばあちゃんの応援に応え、大ハッスル。

12月5日(金)エーガイヤちくさ屋内運動施設において、「みんなあつまれちくさっ子」を開催しました。

このつどいは、千種の就学前の子どもたちが一堂に会し、一緒に遊んだり食事を共にすることによって交流を深めるために毎年行っています。

今年は、ちびっこマラソンや新聞紙の玉入れ競争などを一緒に楽しんだ後、ボランティアさんお手製の団子汁をいただきました。

できました。

近年、千種の年間出生数は、20人に満たず、隣近所で大勢で触れ合う機会も少なくなってきています。

このようなつどいを通して、子ども同士また親同士も顔見知りが増え、気軽に声かけや見守りができる地域になるよう社協も協力していきたいと思っています。

(千種支部 山本めぐみ)